



# 地域研究会資料 —地域ぐるみによる観光まちづくり—

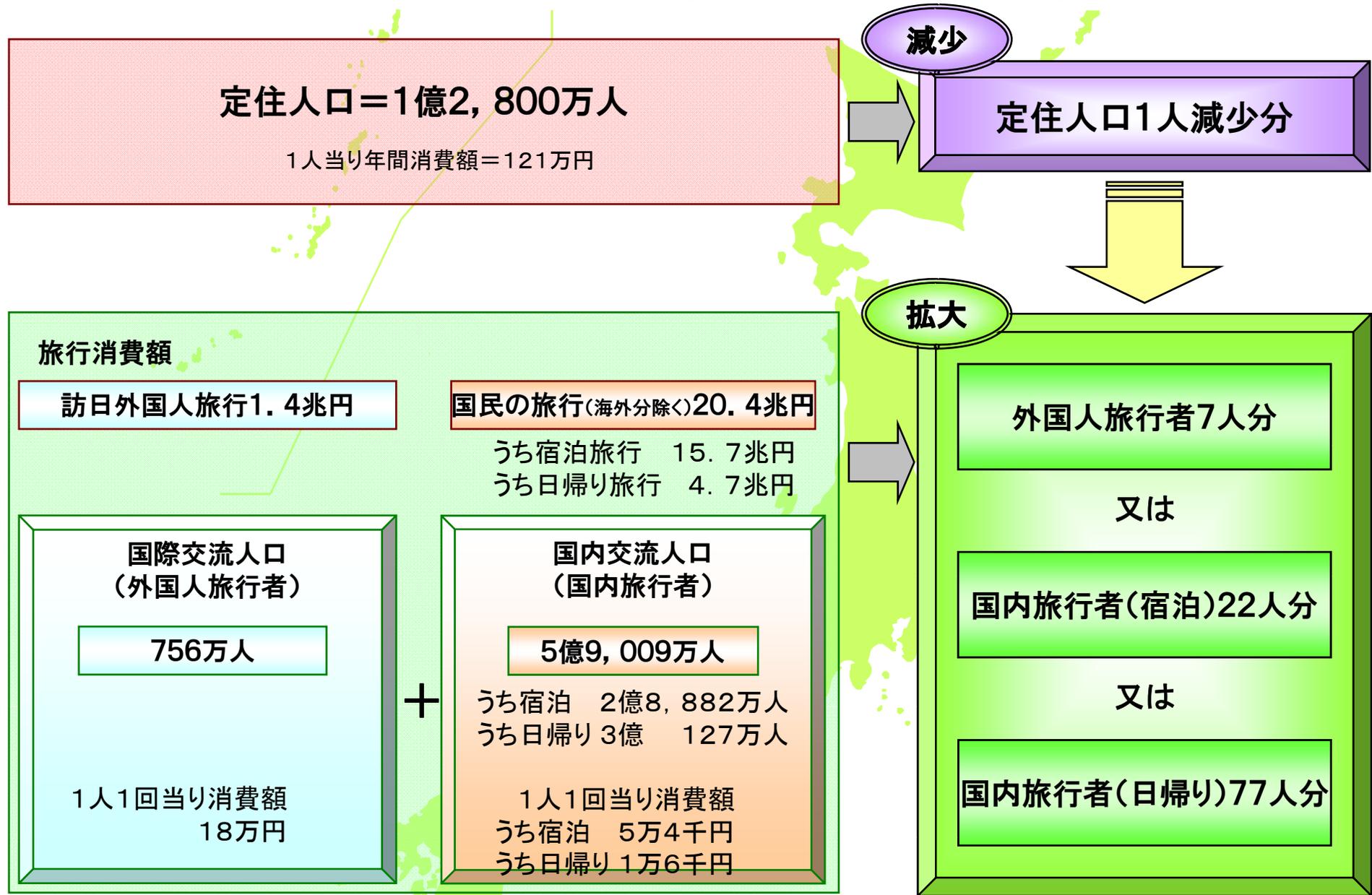
平成21年10月8日

立教大学観光学部特任教授  
(株)ジェイティービー常務取締役  
(株)ツーリズムマーケティング研究所顧問  
清水 慎一

# 観光をめぐる動き

- 「交流なくして活力なし！」  
人口減少で衰退する地域が観光などによる  
交流で元気に！  
《2003年観光立国、観光立県の認識》
  - 「活力なくして交流なし！」  
地域独自の魅力や資源を活かした「まちづくり」  
や「住民の活動」が観光による交流を活発に！  
《アイデンティティ(地域の歴史、伝統、文化に  
対する誇り)の確立》
- ⇒交流＝「地域内の交流」＋「地域間の交流」  
《住民の地域活動》 《観光交流》

# 観光交流人口増大の経済効果



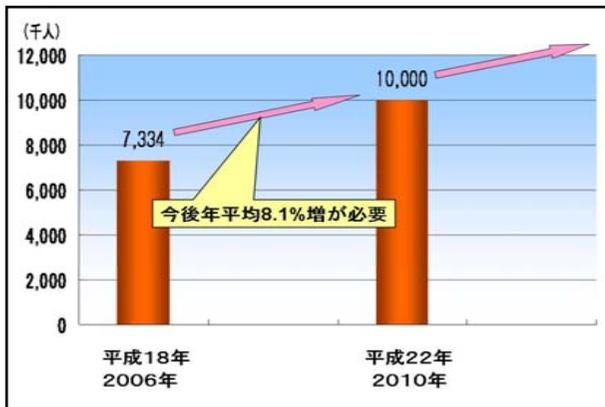
定住人口は国勢調査(総務省)、定住人口1人当り年間消費額は家計調査(総務省)による。  
旅行消費額は旅行・観光消費動向調査(2006年度)、国際交流人口はJNTOにより、国内交流人口及び1人1回当り消費額(国内・外国人)は両調査を用いた試算。  
定住人口1人減少分に相当する旅行者人数は、定住人口1人当り年間消費額を交流人口1人1回当り消費額で除したものである。

# 2007年「観光立国推進基本計画」

## 1, 2, 3, 4, 5の目標

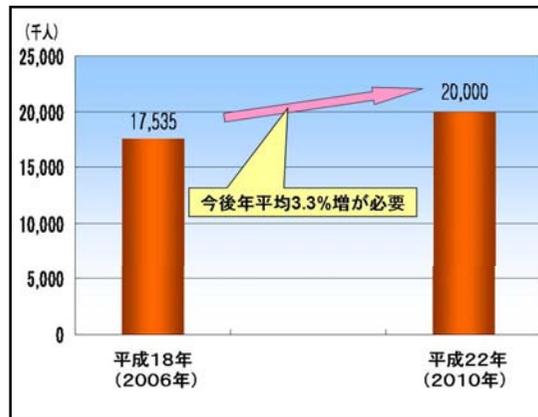
### ○訪日外国人旅行者数

平成22年までに1,000万人にし、将来的には、日本人の海外旅行者数と同程度にする



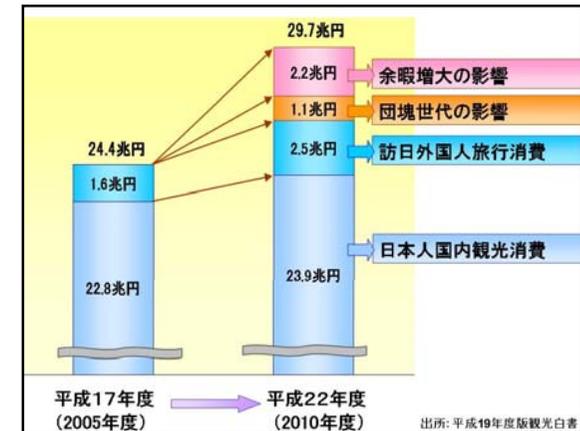
### ○日本人の海外旅行者数

平成22年までに2,000万人にする



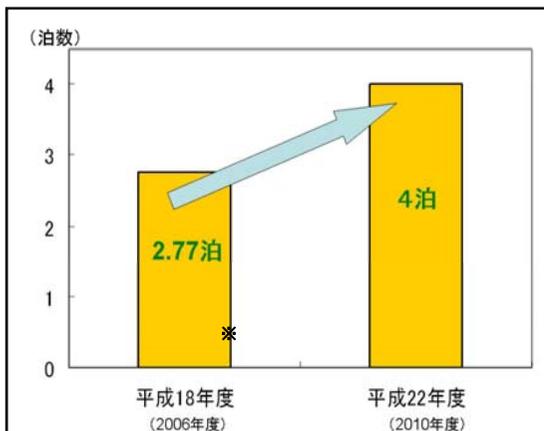
### ○国内における観光旅行消費額

平成22年度までに30兆円にする



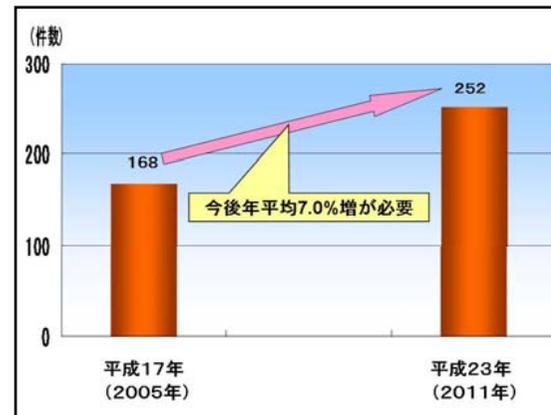
### ○日本人の国内観光旅行による1人当たりの宿泊数

平成22年度までに年間4泊にする



### ○我が国における国際会議の開催件数

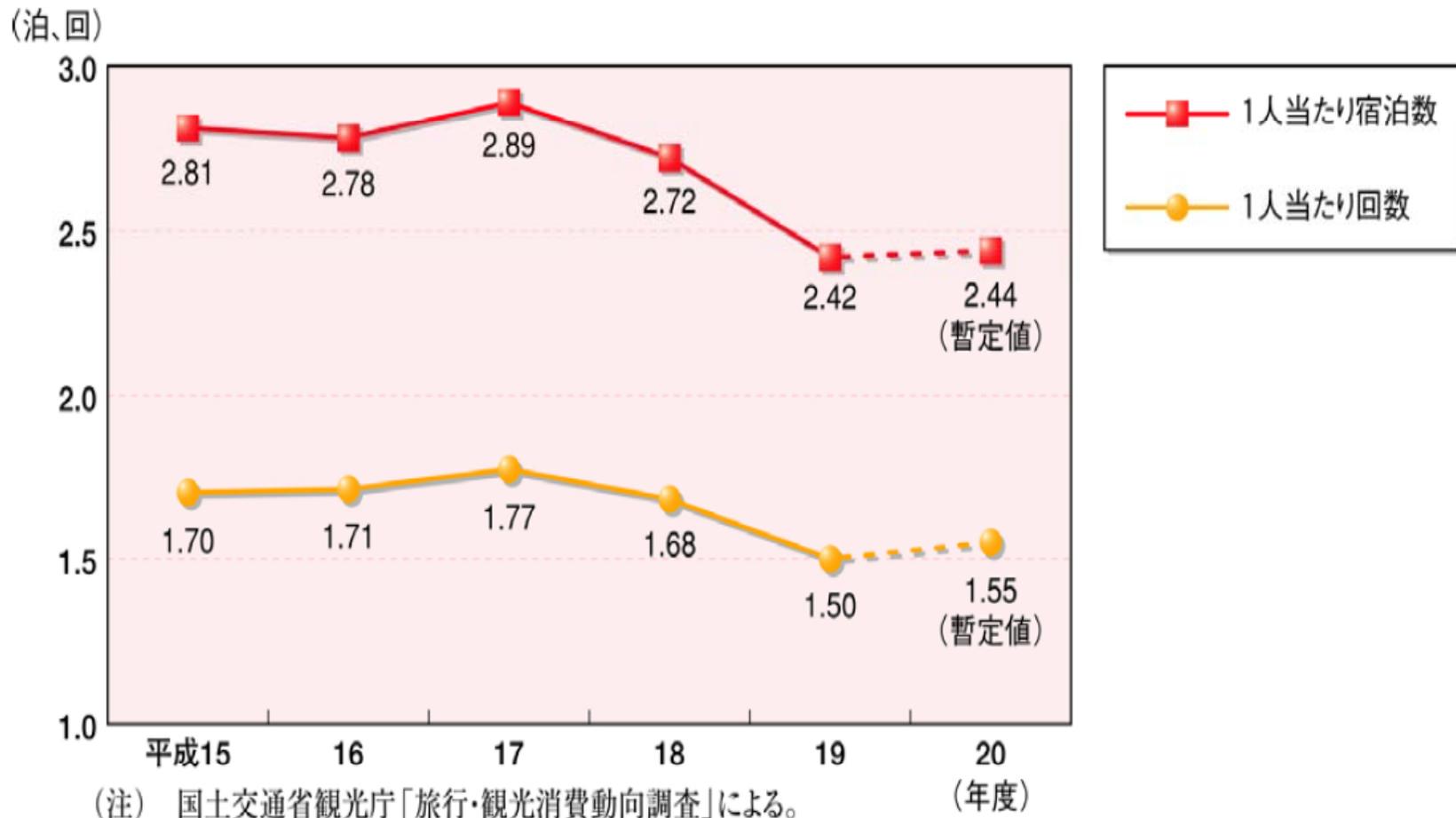
平成23年までに5割以上増やす



# 国内宿泊旅行の現状

# 国民一人あたり宿泊旅行回数、年間宿泊数が減少

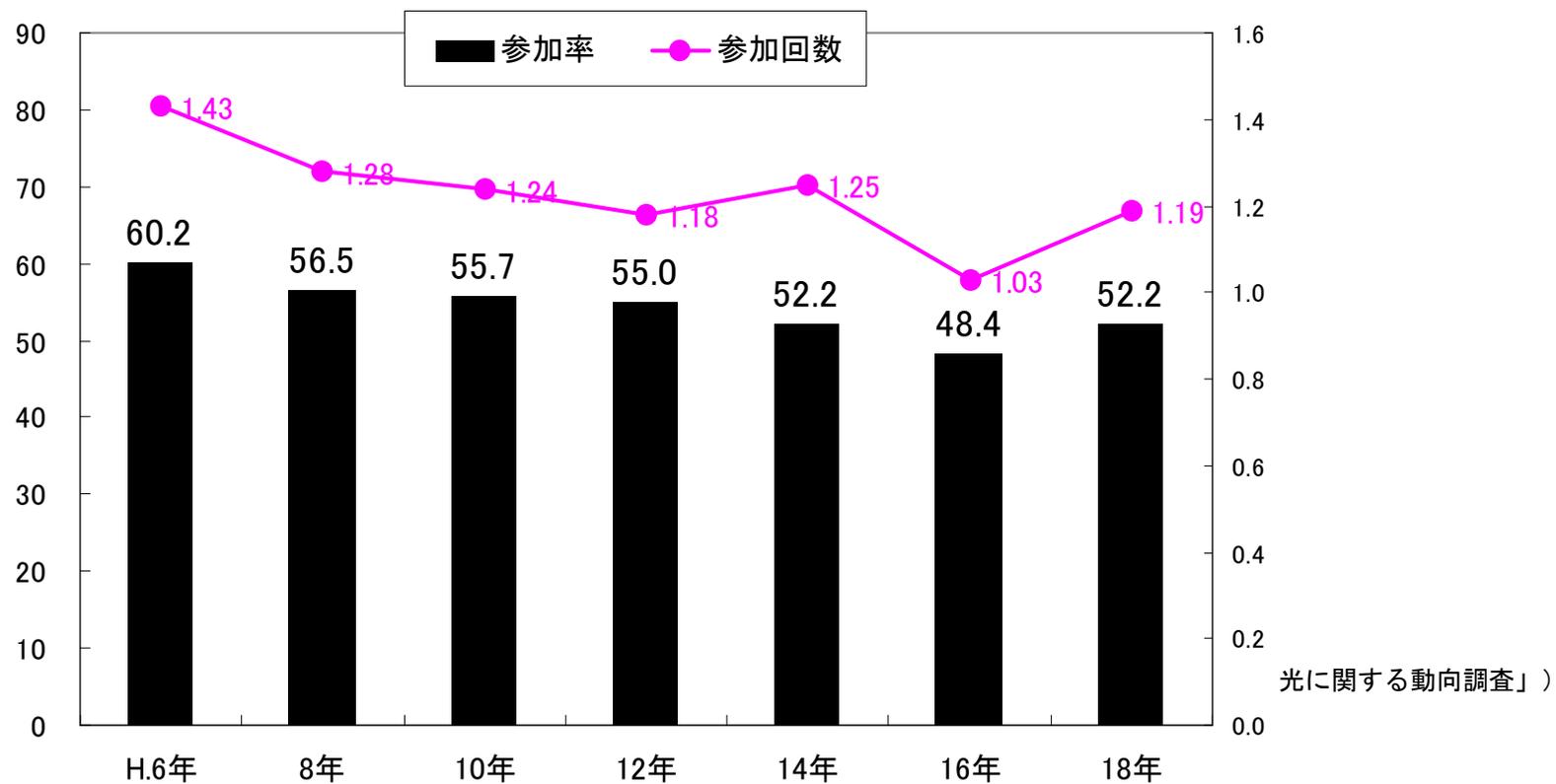
国内宿泊観光旅行の回数及び宿泊数の推移



# 国内宿泊旅行参加率は減少！

## 【国内宿泊観光旅行への「参加率」と「参加回数」】

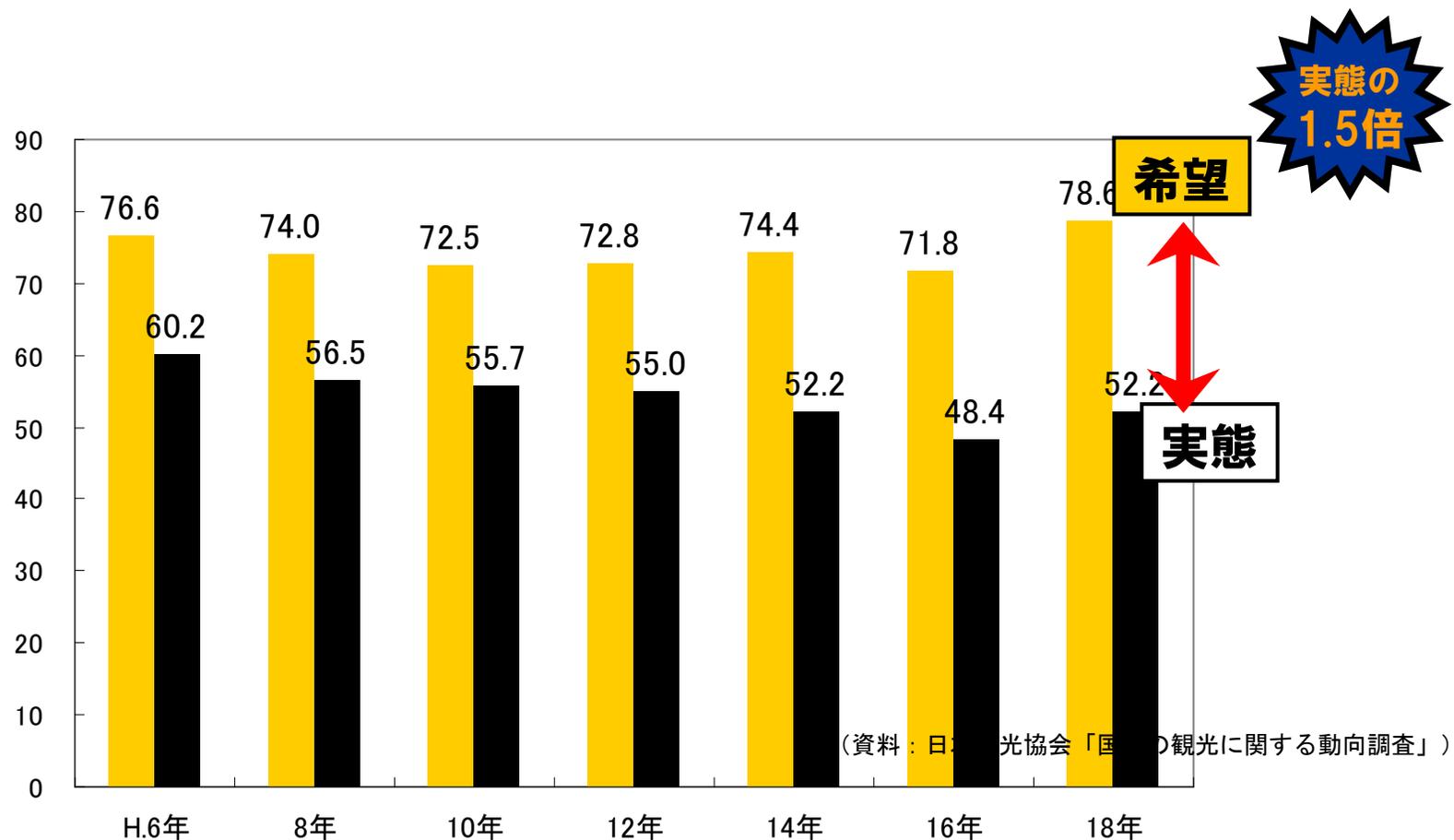
(%)



# 国内宿泊旅行への参加希望は根強い！

【国内宿泊観光旅行への「参加率」と「今後の参加希望率」】

(%)



# 大分県長湯温泉

平成元年  
7.6万人  
平成18年  
83.2万人

◆ 芹川(せりかわ)が蛇行する一等地に建っている長湯温泉を代表する老舗旅館「大丸旅館」



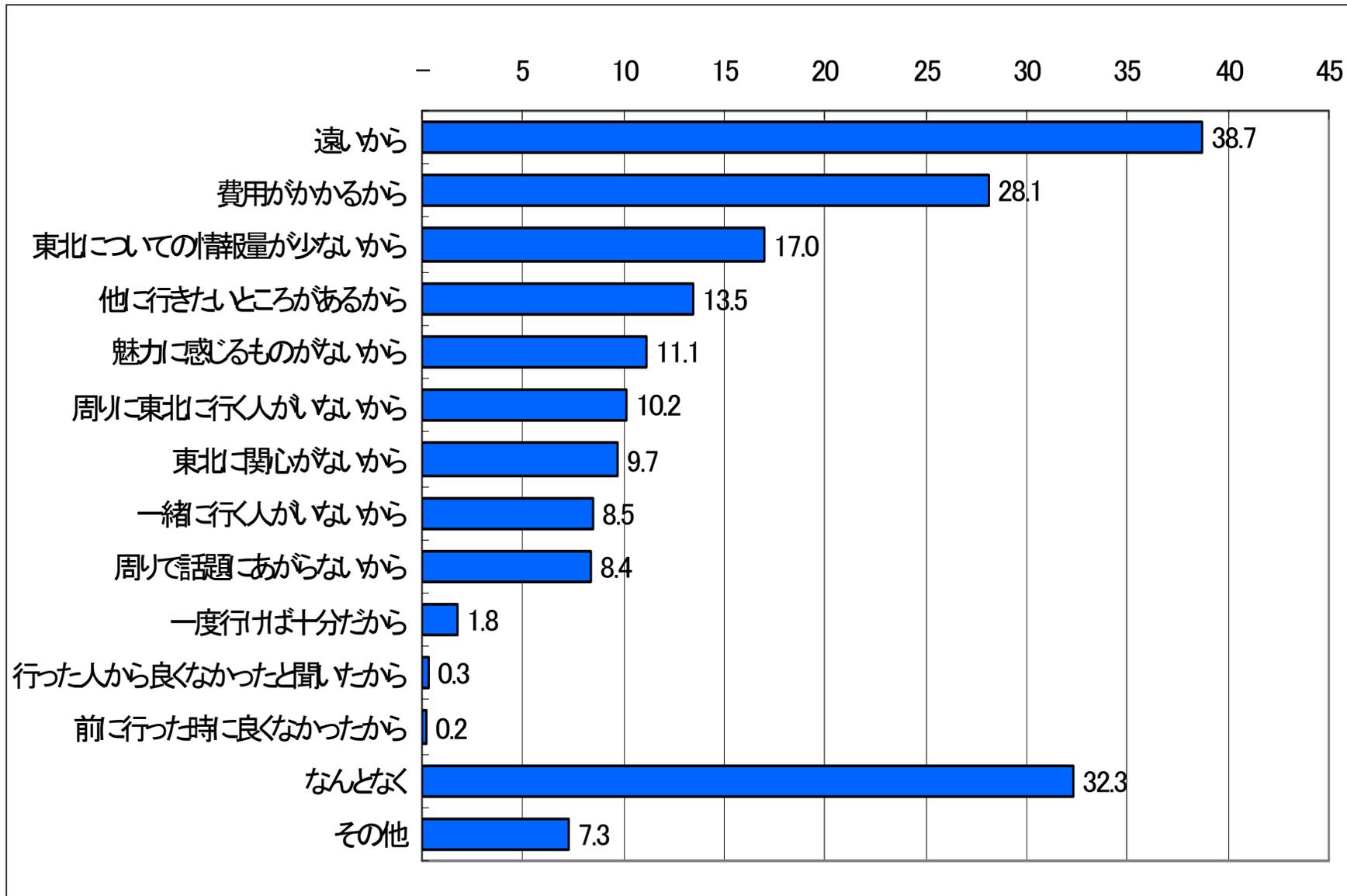
◆ 魔女の城のような独特の景観の「ラムネ温泉」入浴料500円



◆ ラムネ温泉の露天風呂(内湯)



# 「11年以上前に行った」「行ったことがない」と答えた人の理由 (東北観光推進機構の調査による)



## 国内宿泊旅行を逡巡させる「気分」とは？

- 先行き不透明
- 希望の格差
- 「何となく」「きっかけがない」
- 一方で増加の一途の温泉地も
- 多くの観光地や宿泊施設、旅行会社など観光業界の怠慢？
  - ⇒お客様の要望、ニーズに応えていない！
  - ⇒お客様の心に直接訴えていない！
  - ⇒観光振興のやり方を間違えている！

「観光」が変わった！

# 西欧の「街並み観光」が人気！





# 温泉街のまちなか観光(別府)

べっぷで“オンパク・デビュー”しませんか?  
 2007.5.11-6.3  
 BEPPU HATTO  
**ONPAKU**  
<http://www.onpaku.jp>



## 外で遊ぼう! まちあるき+人+食

### 北浜で遊ぶ! 路地裏で学ぶ大人の時間 小粋にふらりとそぞろ歩き “小料理屋のママさんを訪ねる”



ママさんの笑顔に心が和みます。  
 暖簾を守り続ける人の横顔は凛として美しい。そんな生き方が店の風情に深みを増します。そんなママさんを訪ねた小料理屋巡りの一夜。立ち飲みOKの方限定で、そぞろ歩きを楽しみましょう。案内人は夜の街を知り尽くした? 2人の殿方。お腹いっぱい食べる前に、軽〜く運動してから出かけましょう。消費カロリー分だけ食べてみるのもちなもの。



〈案内人〉長野 力  
 別府大学健康センター所長



〈案内人〉土田 真市  
 一級建築士

- 日 時 5/18(金)・25(金)  
 17:00~20:00
- 料 金 2,500円
- 定 員 各10名
- スケジュール  
 16:50 ホテルニューツルタ集合  
 ・軽くエクササイズ  
 ・小料理屋巡り〜北浜界隈  
 20:00 解散  
 ※お席の予約はございません。  
 立ち飲みOKの方。
- 集合 ホテルニューツルタ  
 (地図P44・B4)
- 予約 オンパク事務局  
 ☎ 0977-22-0401

### 仮種ライダーがナビゲート BEPPU 変わり麺 大食いクルーズ



あの通りの向こうに、こんな麺が... 大食いの方は必見!  
 別府北浜界隈にある、ラーメン・うどん・パスタなど様々な麺。まずは竹作家の手ほどきにより、“竹のマイ箸”と一緒に作ります。それを片手に、定番から裏モノまで「変わり麺」にスポットをあてた食べ歩きツアーを楽しんでみませんか? 巡るお店は当日までのお楽しみです。ちょっとお土産話ができる麺に出会えますよ。



〈案内人〉田口 慎吾  
 シティ情報おいたやモグモグ、ハビマリ、セーブル)を発行している、おおいにインフォメーションハウスのスタッフ

- 日 時 5/26(土)  
 15:00~21:00
- 料 金 3,000円
- 定 員 8名
- 服装 汚れても良い服装で  
 (なるべくならズボンが好ましい)
- スケジュール  
 15:00 ホテルニューツルタ集合  
 竹の箸作り(90分程度)  
 竹作家に学ぶ  
 北浜界隈を麺クルーズ  
 21:00 解散予定
- 集合 ホテルニューツルタ  
 (地図P44・B4)
- 予約 オンパク事務局  
 ☎ 0977-22-0401

### ディープな夜のA+B お色気A級+B級グルメの 別府路地裏探検隊



みんなで行けば恐くないいざ突撃!  
 めくるめく別府の夜のお色気文化と食文化を一举に体験しましょう。恋のデザートうなぎケーキをはじめ、路地裏にたたずむB級グルメの名店めぐり、お腹がいっぱいになった後は別府のお色気スポットを巡りつつ最終目的地のA級劇場へGO!



- 日 時 5/17(木)・31(木)  
 20:00~(所要4時間)
- 料 金 3,800円(観劇料含む)
- 定 員 各15名
- 集合 吉永カメラ前
- 予約 オンパク事務局  
 ☎ 0977-22-0401



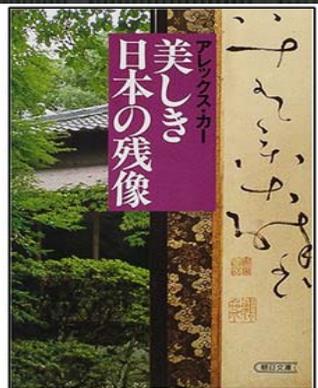
## 「街並み」と「まち歩き」が人気の理由

- 地域の祭り、食、伝統など普段の暮らしに触れられる！（心地よい 楽しい！）
- 「地域の人たちとその生活」（生きた町）が魅力！
  - 「地域の歴史などを大事にした街並み」  
が人を集める！
  - 町を歩いて廻る「まち歩き」が人気！

# 市民の市場が人気！（八戸陸奥湊）



# 京都・町家 に宿泊する観光客が急増！



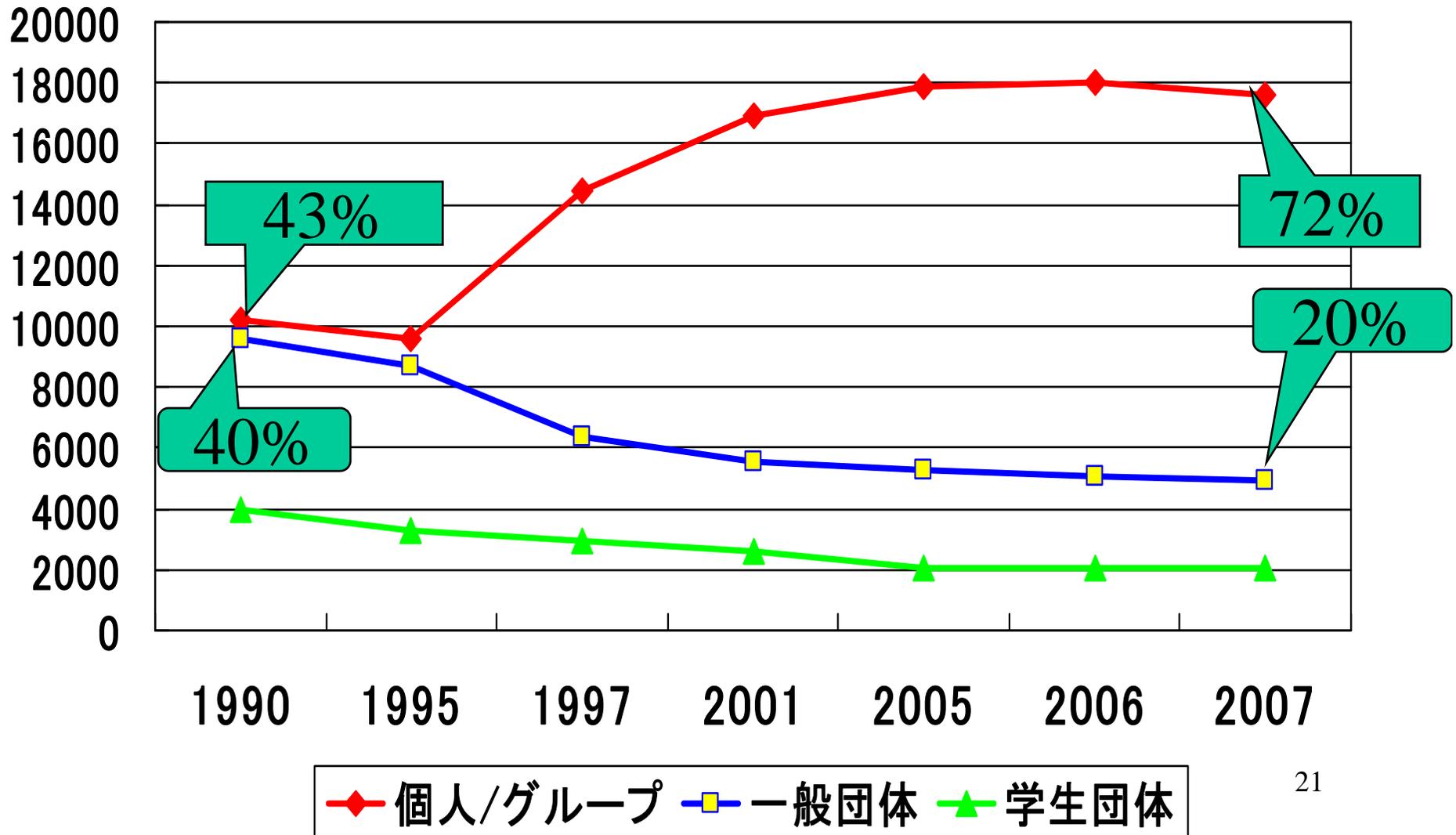
# 最近の「観光」は様変わり！

- 個人グループ
- じっくり滞在！
- 地域の生活、食材や伝統文化を求めて！
- 現地で体験したり交流する！

⇒雄大な自然・桜・紅葉、名所旧跡などの観光施設、温泉、祭りだけではなく地域の暮らしや歴史・伝統・文化、食を歩いてじっくりと楽しみたいと思う観光客が増加！

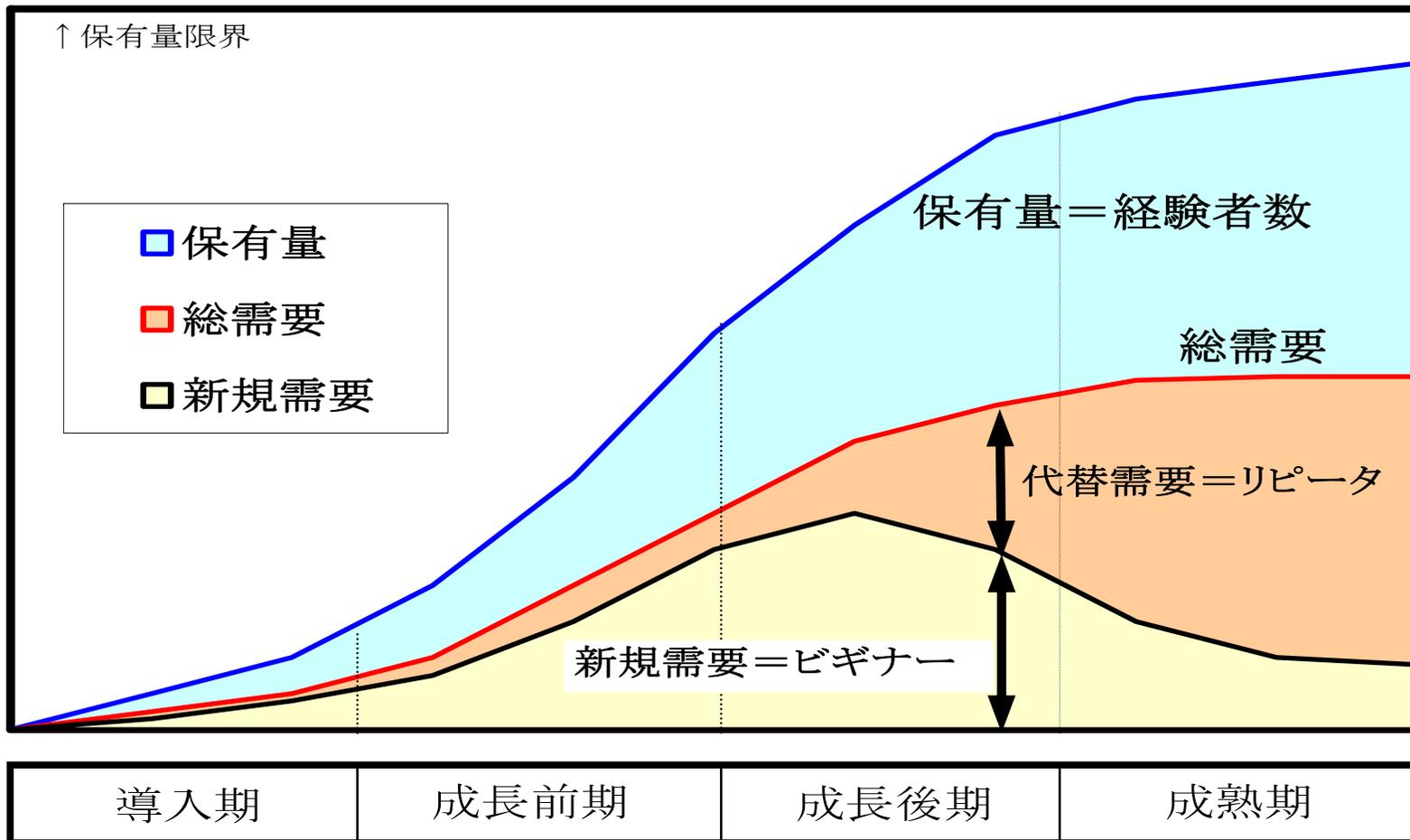
⇒地域の生きた暮らしに触れたい！

# 背景＝個人・グループ化 (JTB宿泊白書2008)



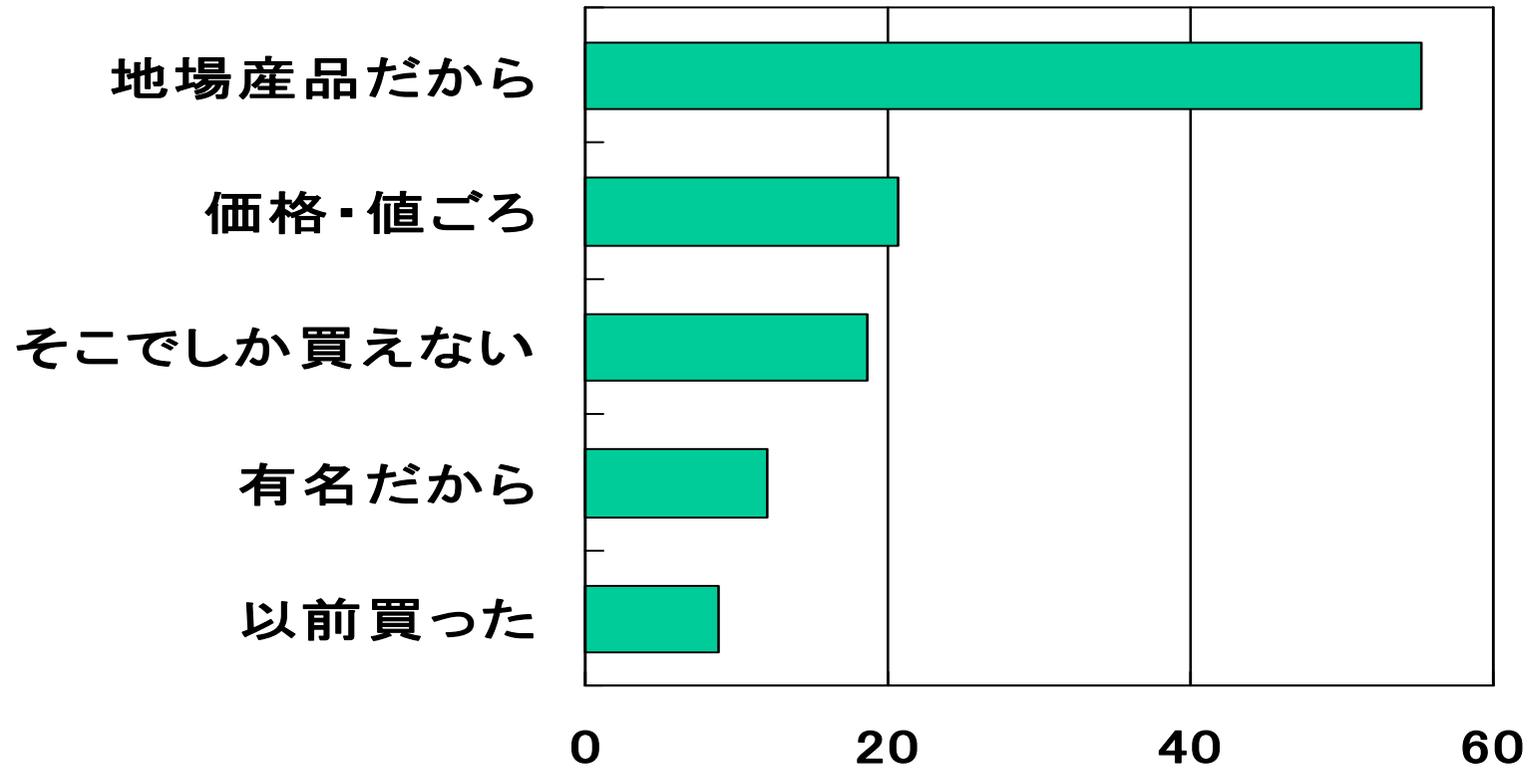
# 背景=リピーター化

消費需要成長過程の模式図:



# 背景＝地域への回帰

(財団法人日本交通公社の北海道での調査による)



## 土産品の選定理由

## 背景＝連泊への希望

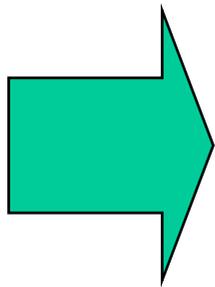
多くの人が連泊したいと思っている。  
理由は「周辺の観光をじっくりとしたいから！」  
(JIC「旅の販促研究所」)

(Q)今後、連泊したいと思いますか？



## 「旅人は生活者」(故木村尚三郎)

- 観光客は施設を楽しむのではなく、その地域の日常生活を楽しむ。
- だから、旅先で地域の人と同じ暮らしや楽しみをほんのひと時でも味わうことを望んでいる。



自然や歴史、伝統、文化、生活、食などの地域資源を活かしたまちづくりが必要！  
旅行者のための施設や特別な仕掛けは不要だし、逆効果！  
「観光施設の観光」から「地域観光」へ

# 観光客のニーズに対応できない観光地

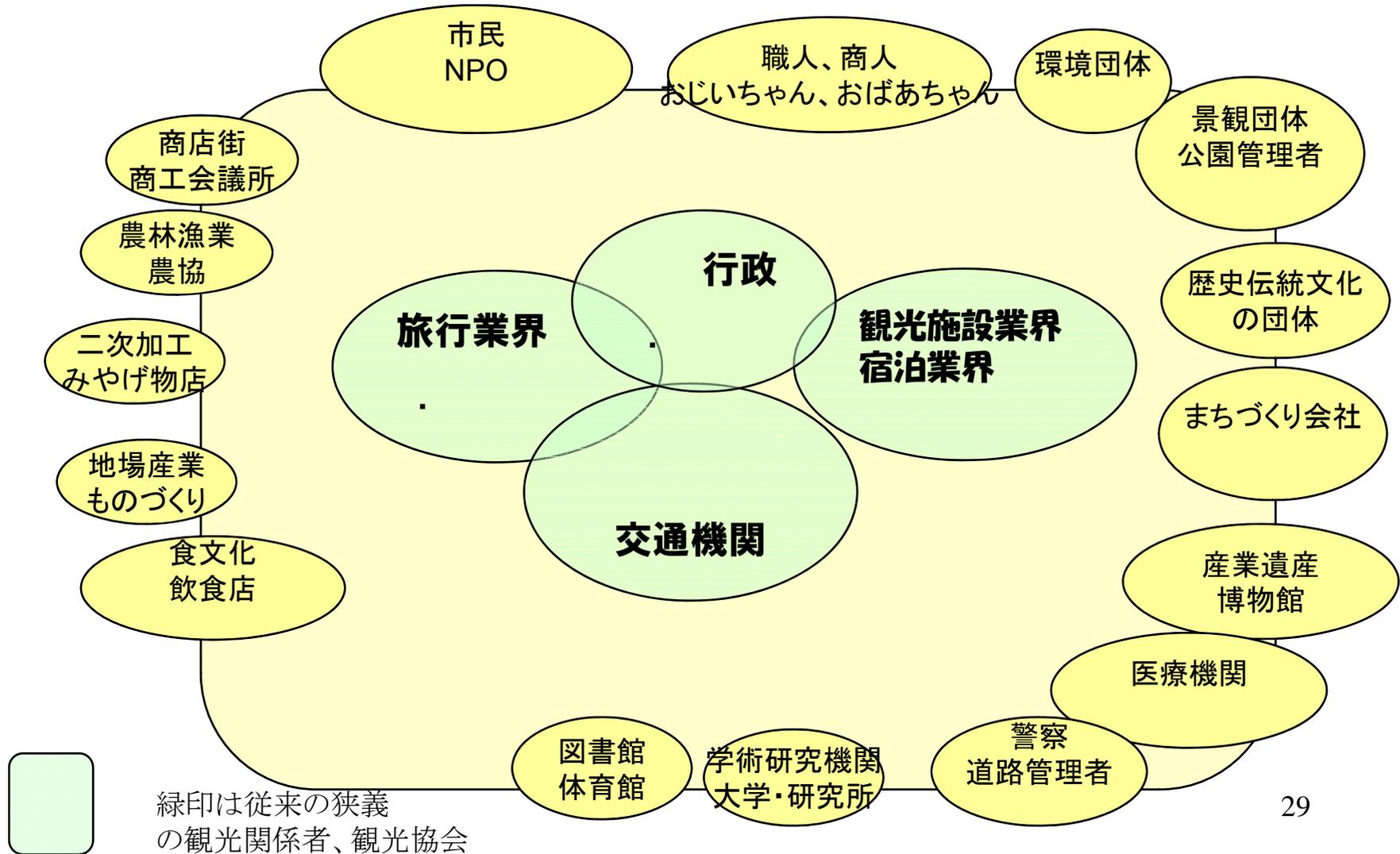
- 暮らしを感じさせない箱物、テーマパーク
  - 交流を拒否する無機質な街並み(銀行・・・)
  - どこにでもある食事、みやげ物
  - 個性のない街なみ(どこでもある店、 シャッター通り商店街、画一的な駅前)
  - 住んでいる地域をけなす住民、タクシー運転手
- ⇒このようなことを改善しないでPRしても無駄！
- ⇒観光振興のやり方が間違っている！

# 観光振興のやり方が変わった

# 「観光振興」のやり方が変わった！

- 歴史、伝統、文化、食などの地域資源を大事にし、それらを活用する「まちづくり」と地域住民の取り組み「ひとづくり」がポイント
- 観光客はそのような地域にひきつけられていく！
  - ⇒いままでの「観光」と全く違う！
  - ⇒脱「はこもの観光施設」
  - ⇒地域住民が皆参加する《まちじゅう観光》

# 「まちじゅう観光！」 ＝「ひとづくり」「まちづくり」こそ観光振興



# 地域全体の「泊食分離」が本格化！

08.12/1~'09.3/19 (1年6ヵ月間 連続)

ひと暮らしが、日本の味。 **エースホテル**

旅館の常識に革命を!! JTBが提案する新しい旅と食事のスタイル!  
8,300円~27,400円

南白浜スタイル

バラエティー豊かな27の食事と13のお宿が自由に選べます!

天然クセ 熊野牛 釜揚げしらす丼 地中海料理 畜焼きピッツァ

27の食事メニュー×13軒のお宿で、バラエティー豊かな旅の組み合わせが楽しめます!

### 白浜を食す

3,000円	① 白浜温泉パーク温泉の湯	P3	7,900円	⑩ 朝しの宿アパハウス白浜「なまむ」	P7
4,200円	② 長久湯	P3	8,400円	⑪ 舞鶴温泉ホテルシーモア「レストラン「ササキ」」	P7
5,300円	③ 湯島	P4	10,500円	⑫ 白浜荘グランドホテル「レストラン「磯風」」	P8
6,300円	④ 九十九	P4	11,800円	⑬ 中野	P8
7,000円	⑤ 九郎平	P4	13,700円	⑭ 朝しの宿アパハウス白浜「レストラン「なまむ」」	P8
7,400円	⑥ 新 白浜温泉「ササキ」	P5	15,800円	⑮ コガイベイホテル「レストラン「舞鶴」」	P9
7,700円	⑦ 山崎荘グランドホテル「レストラン「磯風」」	P6	22,100円	⑯ コガイベイホテル「レストラン「舞鶴」」	P9
	⑧ 湯千鳥の温泉向「温泉街「湯たると」」	P6		⑰ 舞鶴温泉「温泉街」	P9
	⑨ 三東荘「温泉街「湯たると」」	P6		⑱ 舞鶴温泉「ダイニングルーム」	P9

### 白浜で寛ぐ

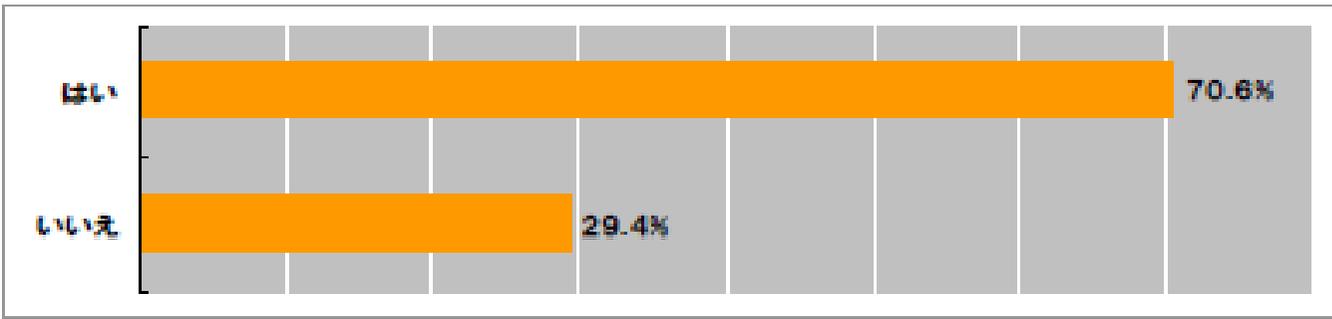
8,300円~15,900円	P11	11,000円~14,800円	P13
9,700円~14,300円	P11	10,000円~17,500円	P13
11,100円~20,900円	P11	11,000円~19,200円	P13
9,300円~17,400円	P12	14,700円~19,500円	P13
11,700円~20,900円	P12	18,700円~27,400円	P14
10,800円~16,500円	P12	15,400円~21,300円	P14
9,900円~15,100円	P12		

タクシーチケット 2枚もお渡しします!

「白浜スタイル」  
(JTB西日本)

- 旅館ホテル13施設  
× レストランなど27  
施設

(Q) 今後、泊食分離の旅館に宿泊したいですか? n=337



# 「まち歩き」を楽しめる「まちづくり」

滞在させる魅力

《個性あるまち＋歩いて楽しいまち＝元気なまち》

- －古いものを大事にした地域
- －市場、商店街(店の意味)などの地域の賑わい
- －車中心ではなく人間中心
- －2次交通など移動手段
- －街路樹と散歩道とベンチ、トイレ
- －ガイド、コンシェルジュ・魅力的な住民

# まちを元気にするひとづくり

## 「いわて塾」= 多様な担い手の育成と連携づくり

事業目標：着地型観光の素材開発と展開、観光PR

事業方針：①各社、各地域の資源の融合と共有  
②目的、志向を同じくする者の加入促進・交流・連携

事業活動：

1	食について	県産食材の発掘と付加価値を高めるために 塾生コラボレーションによる商品化に向けた取組
2	観光について	岩手の素材を使った観光資源の商品化
3	物産展について	長期継続事業
4	塾生加入促進	活発な岩手塾にするため塾生全員で加入促進の強化に努める
5	ブログ強化	担当割当を行う／個人担当カテゴリー作成（別紙1・2参照）

事業内容：毎月1回の月例会にて継続

- ①講演会
- ②移動例会
- ③物産展



## ヒューマンスケールの心地よさ

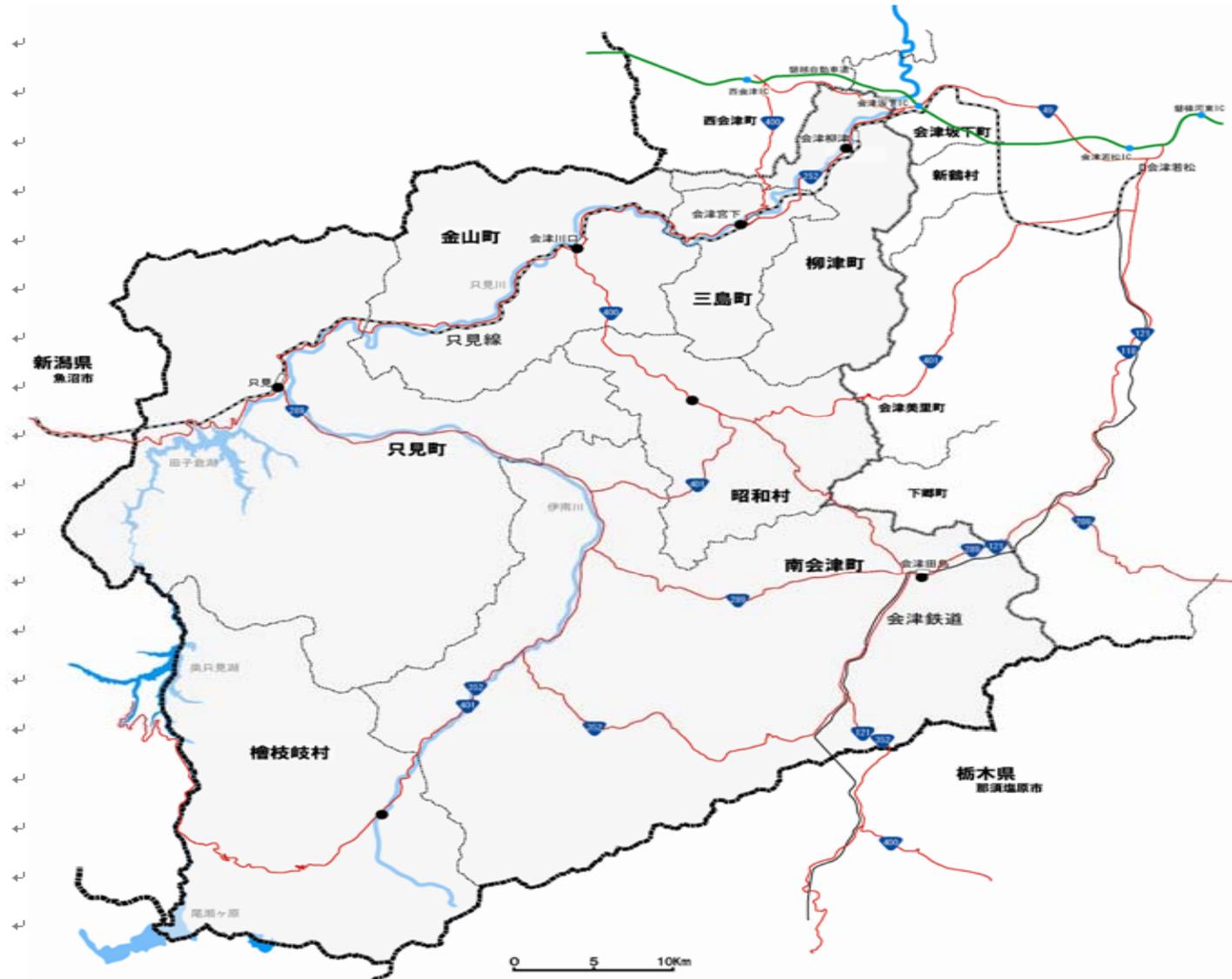
「人間が主役の、互いに顔が見える都市の魅力」ー空間を人間の手に取り戻す強い意志！  
「70年代のイタリアにおける歴史的な空間の魅力アップに大きく貢献してきたのが歩行者空間化である。」  
「身体感覚を基盤に心地よさを追求して出来上がっている空間がある。」

\*「地中海周遊」陣内秀信他

# 奥会津電源流域での議論

# 奥会津

【奥会津地域の概況】 ←



## 奥会津が20年間取り組んだこと

- 観光施設の整備（スキー場、道の駅・・・）
- イベント（ウォーキング大会）
- 観光PR（冊子、マップ・・・）
  
- 60億円

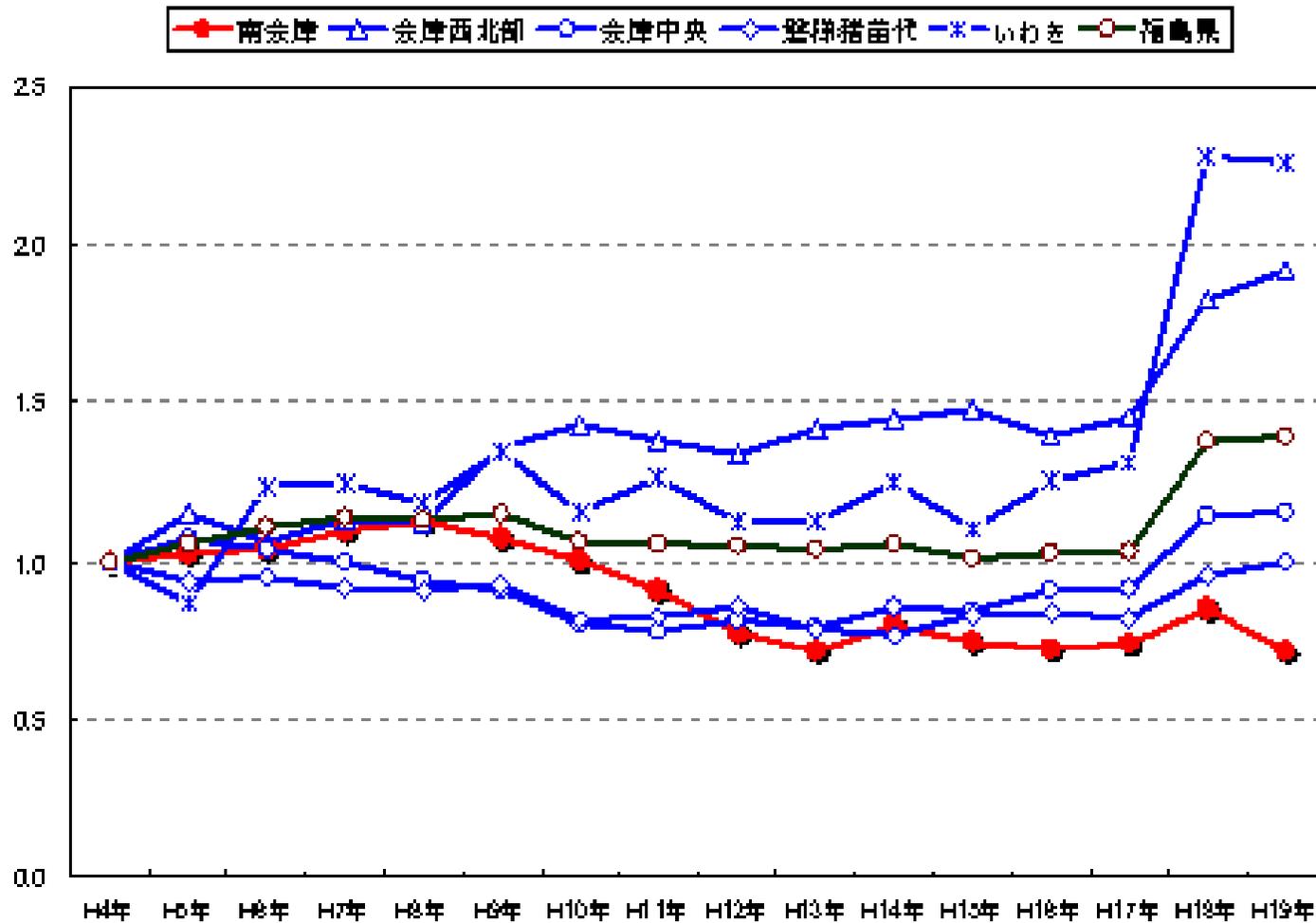
## 奥会津の取り組みの結果

- 只見川流域電源振興協議会(9地域、町村)
- 20年間ハコモノ、イベントなど観光振興に60億円  
《歳時記の郷・奥会津》
- 人口減少、高齢化、集落の消滅、伝統文化の継承不可、伊南川や只見川の清流消滅

⇒地域振興の理念と目標があいまいだった！

# 観光客数の推移

観光客数の15年間の推移（平成4年を1とした場合の推移）



## 地域振興のやり方が間違っていた！

- 行政主導だった！住民の盛り上がりには欠けていた！
  - ハコモノを作ることに力を傾けたが、その後の活用について論議が足りなかった！
  - フォット・コンテストや「ごっつおう祭り」などイベントが一過性なものであった！
- ⇒そもそも理念と目標が明確ではなかった！

# 奥会津の20年後

- 人口減少・高齢化
  - 集落の消滅
  - 耕作放棄地
  - 荒れた山林
- ⇒このような奥会津ではなく

# 奥会津の明るい未来

- 若者が地域を支え！
- 農林業が成り立ち！
- 子どもの歓声が聞こえ！

# 奥会津の明るい未来の実現

- 若者が地域を支え！－働き場所（起業）
- 農林業が成り立ち！－旧来の農林業からの脱却（農商工連携による付加価値）
- 子どもの歓声が聞こえ！－子どもの来訪

# 新たな流域の振興計画策定

- 今後の20年間でどう見据えるか？
- 何もしなければ人口減少、高齢化、集落消滅など地域はますます衰退！
- 目標＝「若者」の流出阻止、定着のための起業！
- 農商工連携、着地型観光、子ども農山漁村交流プロジェクト、空き家改修・活用推進による起業！
- ハード整備、公共交通整備、伊南川等環境整備
- 奥会津振興公社設立、奥会津大学設立
- 奥会津事務所の設置
- 住民の声を聞く！

## 「只見川電源流域振興計画」策定 にあたっての基本的な方向性

＜理念＞：人が住み、集まる魅力的な「奥会津（まち）」

- ・奥会津に住むことの誇り
- ・奥会津に住むことへの憧れ
- ・次世代につながる奥会津（まち）

＜目標＞：「観光交流」を軸とした「奥会津ブランドを活かした地域産業」の確立による生活の質の向上と  
コミュニティの維持

「只見川電源流域振興計画」策定にあたって  
弊社の考える地域の基本的な方向性

＜理念1＞：

人が住み、集まる魅力的な「奥会津（まち）」

- ・奥会津に住むことの誇り
- ・奥会津に住むことへの憧れ
- ・次世代につながる奥会津（まち）

「只見川電源流域振興計画」策定にあたって  
弊社の考える地域の基本的な方向性

＜理念2＞：

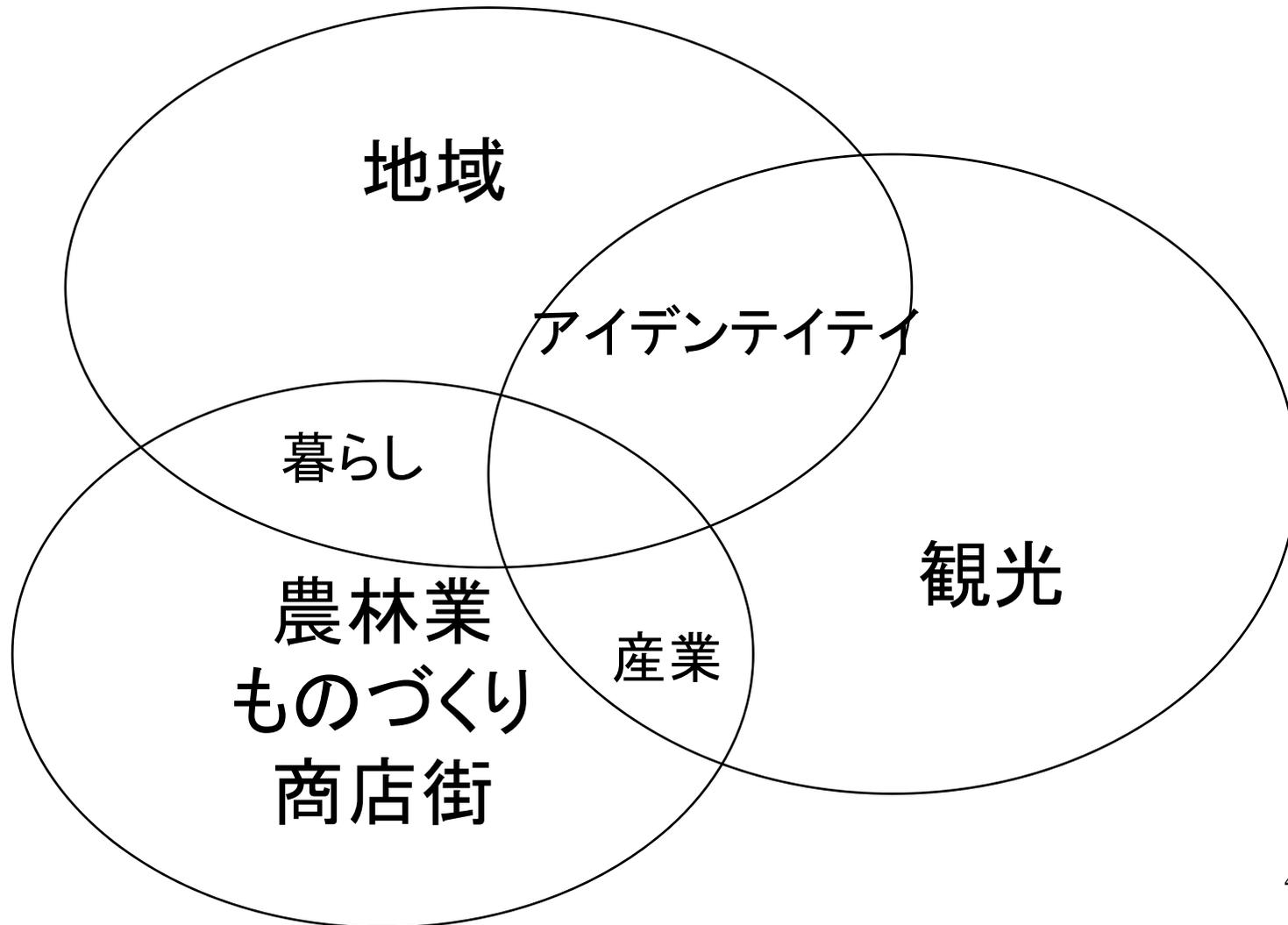
『地域の誇り』+『地域の希望』=『地域の元気』  
地域の価値に 将来の姿と 住民1人1人が  
気付く！ ビジネスが 行動しようとする  
地域の価値に 見える  
自信を持つ！

「只見川電源流域振興計画」策定にあたって  
弊社の考える地域の基本的な方向性

＜目標＞：

観光交流を軸とした「奥会津ブ  
ランドを活かした地域産業」の  
確立による生活の質の向上と  
コミュニティの維持

# 地域産業の起業と地域の暮らし



## 奥会津が今後取り組むべきこと

- 奥会津大学＝地域資源の掘り起こしと活用＝人材育成
- 奥会津振興公社＝農商工連携、着地型観光、子ども農山村交流プロジェクト、空き家改修など2地域居住促進
- 奥会津事務所＝広域連携と上位への事業委託

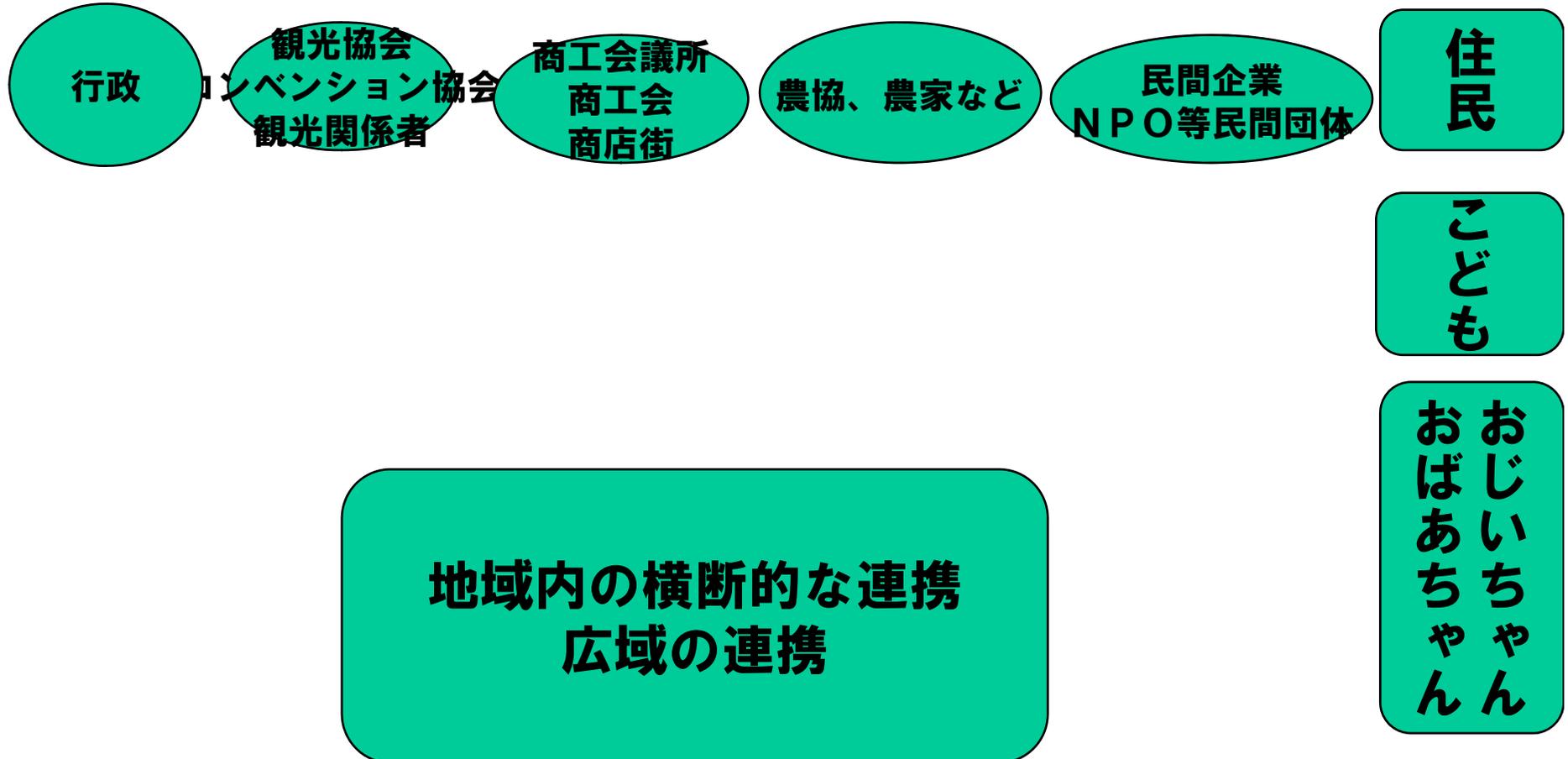
# 地域振興に不可欠な「連携」

# 『連携』が課題

(1) 地域内の多様な担い手の連携

(2) 地域内、県内の地域振興組織の連携

# (1) 多様な「担い手」の連携



# 「いわて塾」= 多様な担い手の育成と連携づくり

事業目標：着地型観光の素材開発と展開、観光PR

事業方針：①各社、各地域の資源の融合と共有  
②目的、志向を同じくする者の加入促進・交流・連携

事業活動：

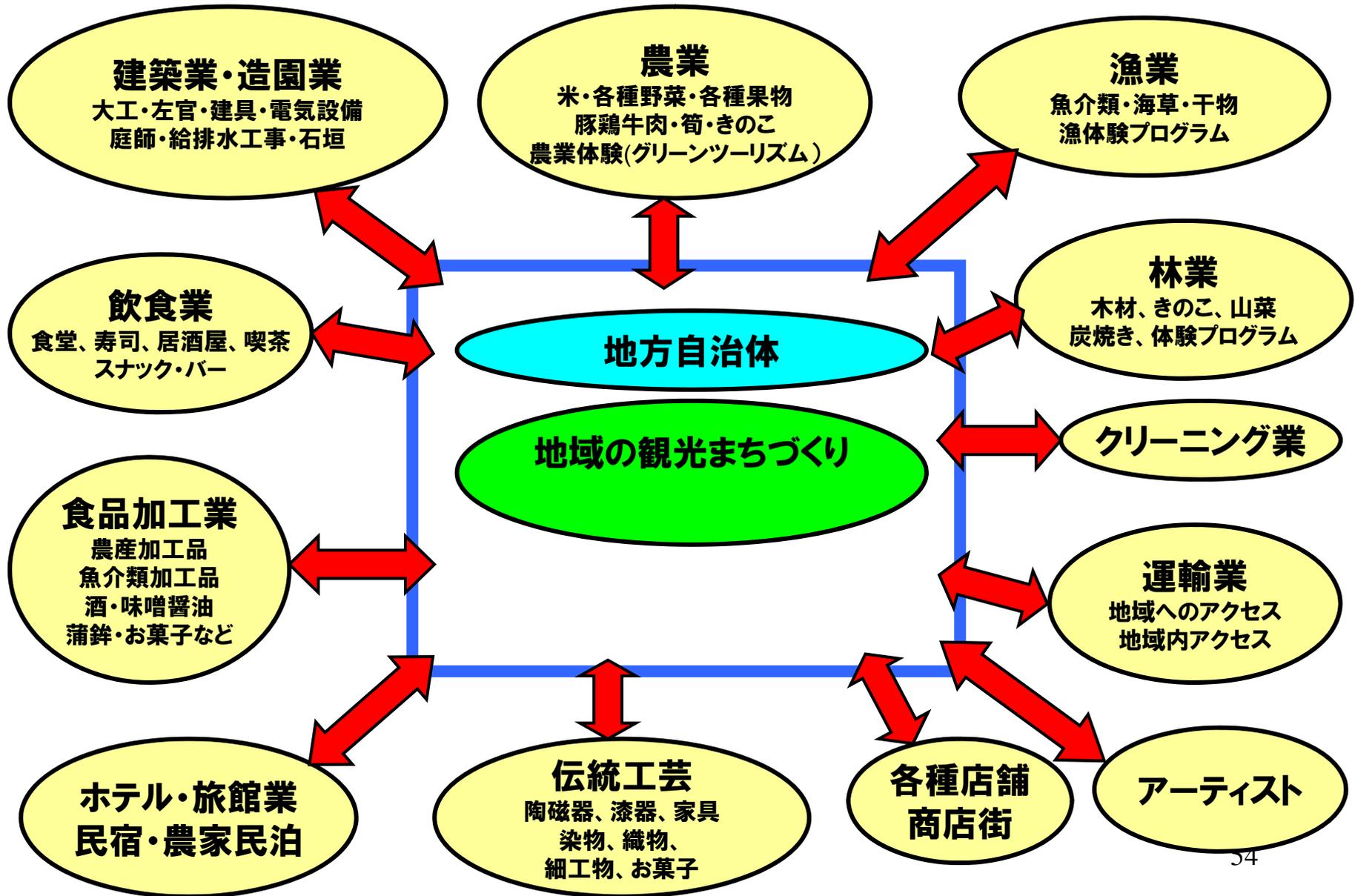
1 食について	県産食材の発掘と付加価値を高めるために 塾生コラボレーションによる商品化に向けた取組
2 観光について	岩手の素材を使った観光資源の商品化
3 物産展について	長期継続事業
4 塾生加入促進	活発な岩手塾にするため塾生全員で加入促進の強化に努める
5 ブログ強化	担当割当を行う／個人担当カテゴリー作成（別紙1・2参照）

事業内容：毎月1回の月例会にて継続

- ①講演会
- ②移動例会
- ③物産展



# 業種を超えた連携



# 農商工連携＋観光



- 食材を作る＝第1次産業
- 食材加工する＝第2次産業
- 食材や加工品を観光客に提供する＝第3次産業

1次＋2次＋3次＝6次

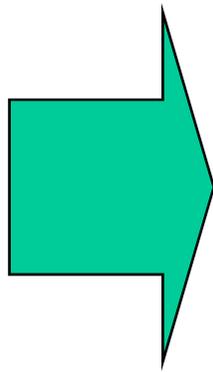
1次×2次×3次＝6次

⇔真の「観光振興」

⇔ヒト、モノ、カネ、情報が動く

## (2) 地域を繋ぐことにより滞在型観光へ！

- 日帰りではなく1泊、1泊ではなく連泊
  - 折角来たのだから！
  - 近くの面白そうなところを廻ってみたい！



単独の自治体だけの観光の  
限界  
観光客にとって自治体の境界  
は無関係！

## 地域同士の広域的な連携の意義

- いろいろな滞在プログラム
- 物語で繋いだ多様な観光コース
- 一体的プロモーション(イメージ形成)
- 案内やHPの一元化
- 人材の統合

⇒ 連泊など滞在型観光の推進

# 観光圏整備による観光旅客の滞在の長期化

## 観光圏整備のイメージ



## 地域が連携して行う取組への国の主な支援メニュー

○予算(観光圏整備事業費補助)、財投  
 宿泊、観光資源、交通移動、案内・情報提供などのレベルアップを図る地域の取組を支援  
 ⇒2泊3日以上快適に充実して過ごせる観光圏づくりに向けた地域の取組を活発化し、観光旅客の満足度を向上

○ハード面での連携  
 社会資本整備における、景観整備、案内標識整備等の事業による観光圏整備事業との連携・配慮  
 ⇒ハード面を含めた観光圏全体の総合的な魅力向上

○農山漁村活性化法の特例  
 観光圏内の農山漁村における交流施設整備について、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金の交付が可能  
 ⇒農山漁村の体験・交流メニュー等楽しく過ごせる滞在メニューの充実

○旅行業法の特例  
 ホテル・旅館による旅行業者代理業の特例  
 ⇒宿による宿泊客への着地型旅行商品の販売を可能とし、宿泊客の滞在を拡大

観光旅客のニーズをふまえた取組への支援

効果

国際競争力の高い魅力ある観光地の形成

内外観光客による2泊3日以上  
 より長期の滞在を拡大

地域経済の活性化

# 昔から広域連携ー四国八十八ヶ所巡り

ホーム > 観光navi > 四国

## 四国八十八ヶ所巡りガイド

### 四国各県の札所詳細情報

■各県を地図上でクリックすると  
札所の詳細情報をご覧になれます。



### 札所一覧から探す

札所間の所要時間と  
距離も分かります。

- ・徳島県の一覧へ
- ・高知県の一覧へ
- ・愛媛県の一覧へ
- ・香川県の一覧へ

四国へのアクセ

徳島編

高知編

愛媛編

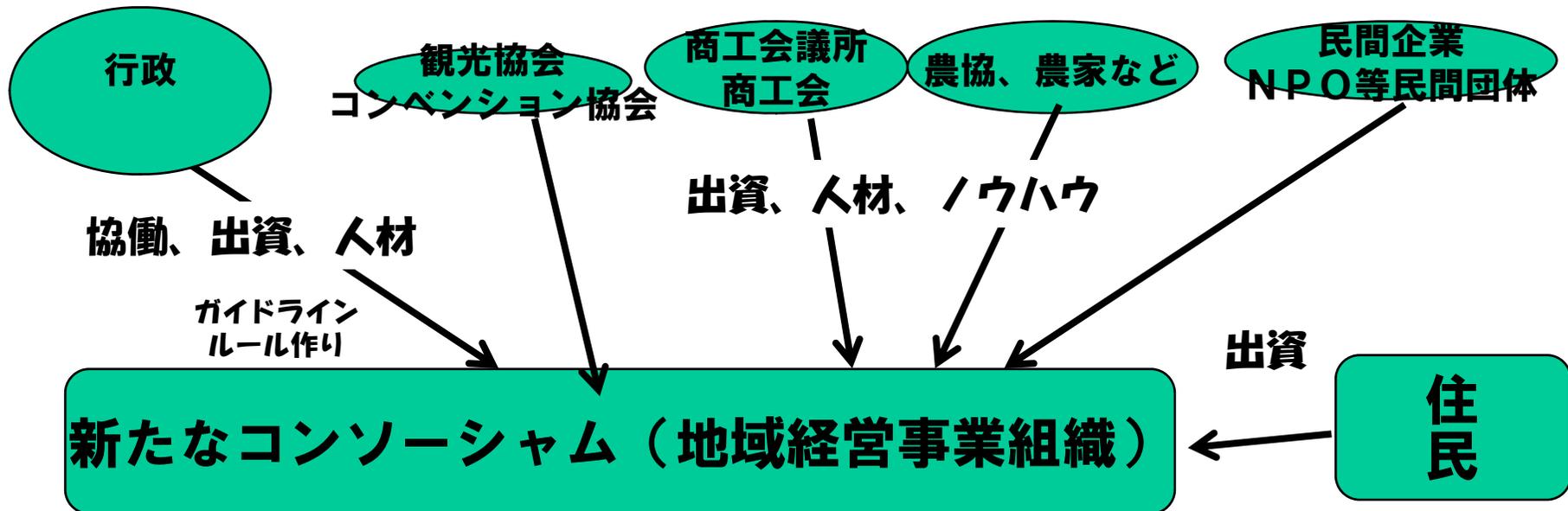
香川編

# 持続的な観光組織とひとづくり

# これからの観光を持続的に推進する組織

- 地域ぐるみで取り組まないと観光は成り立たない！
    - －観光協会など既存の縦割り組織の限界
  - 人材と資金を集中したほうが効率的！
    - －ばらばらな組織による展開の無駄
  - 過度の行政依存では長続きしない！
    - －行政主導の限界、行政の補助金などの限界
- ⇒ 誰が責任を持って継続的にまちづくりや人づくりに取り組むか？

# 担い手の連携から持続的「地域経営事業組織」へ



# 大鰐の取組み事例

# 青森県大鰐(おおわに)町の事例

## 4300世帯、12000人



大鰐温泉スキー場



800年続く温泉



大鰐温泉もやし



# 大鰐町の現状

## 第2の夕張

### 平成のリゾート開発の失敗

- ・町の損失補填額 63億円
- ・連結赤字比率 31.2%
- ・20年続く 毎年3億円の返済

### 観光客数の減少

平成3年 93万人  
↓  
平成16年 37万人

### 事業所・事業者数

平成3年 721事業所  
4,735人  
↓  
平成18年 500事業所  
3,124人

### 人口減少と高齢化

人口11893人  
高齢化率 30.1%  
(青森県過疎地平均28.6%)



官民ともに将来に希望が持てない  
人々の切れた関係性

悪循環!

人口減少→地域活力の低下→閉塞感の広がり

# 平成19年8月130人で「OH!!鰐 元気隊」設立



回覧

大鰐町を元気にしよう!

## おおわに活性化ワークショップ 参加者募集!

大鰐町には、温泉をはじめとした様々な地域資源があります。その価値を再発見し、その活用策をワークショップで考えましょう。この大鰐をもっと好きになりたいたい! 元気になりたい! 年齢は問いません。ぜひ参加してください!

- 日時 平成19年11月4日(日) 午後1時30分~4時 (受付 午後1時~)
- 場所 船 come (わかむ) 研修室 (電話 49-1126)

●内容  
ワークショップの進め方を説明します。そして、いくつかのグループに分かれ、地域の現状や課題を出し合います。

**ワークショップとは?**

たくさんの方が、それぞれに意見を出し合いながら、提案をまとめる会議のこと。  
お互いの考え方を尊重し合いながら、楽しく、平等に話し合いを進めるところが特徴です。

- 参加費 無料
- 主催 OH!!鰐 元気隊

●お問い合わせ、お申し込み先  
＜OH!!鰐 元気隊 事務局＞  
社団法人 95-12 ロッジあじや内 松島 電話 48-5405

大会後の予定  
[第2回ワークショップ] 平成19年12月2日(日) 午後1時30分~4時  
[第3回ワークショップ] 平成20年1月20日(日) 午後1時30分~4時  
③回のワークショップで、大鰐地域を元気にする具体策をまとめます。



# OH!!鰐 元気隊 平成19年度の取組

## ①OH!!鰐 元気隊 設立記念フォーラム「がんばるべし大鰐！」

- 日 時：平成19年10月4日 午後6時半～
- 会 場：大鰐町地域交流センター 鰐come(ワニカム)にて
- 参加者：170名



- キーワードは「あるがまま」あるがままの生活を味わってもらう所が勝ち組である。
- 団塊の世代は青森(ふるさと)に帰りたいがっている。都会では元気になれない。
- 建物やイベントでは無く歴史、文化、生活が地域資源である。そして「食」。

遠慮せずに立ち上がって活動すると人が集まる。

楽しそうに元気そうにしていると人が集まる

**元気は感染する**



# 大鰐町地域交流センター 「鰐come」(ワニカム)指定管理者募集



平成20年11月

- 平成16年12月オープン
- 町営施設
- 総工費 17億円
- 温浴施設・物販施設  
飲食施設・多目的ホール
- 年間入込数  
平成16年:20万人  
→平成19年:18万3千人
- 年間赤字 3300万円

指定管理委託料0を議会で決定→**指定管理者募集へ**



# 大鰐町地域交流センター 「鰐come」(ワニカム) 指定管理者募集



- 観光振興における交流拠点に
- 農商工連携の発信に
- 地元住民の交流拠点に



**OH!!鰐 元気隊で応募**

鰐comeから町内へ

人が流れる仕組みを作り

町のみんなが儲けられるように



**地元の元気は地元の手で作る!**



# プロジェクトおおわに事業協同組合事業内容

## ●地域特産物の開発と共同販売事業

鰐come内での農産物等の販売・首都圏への販売

## ●公共施設の管理及び運営に関する受託事業

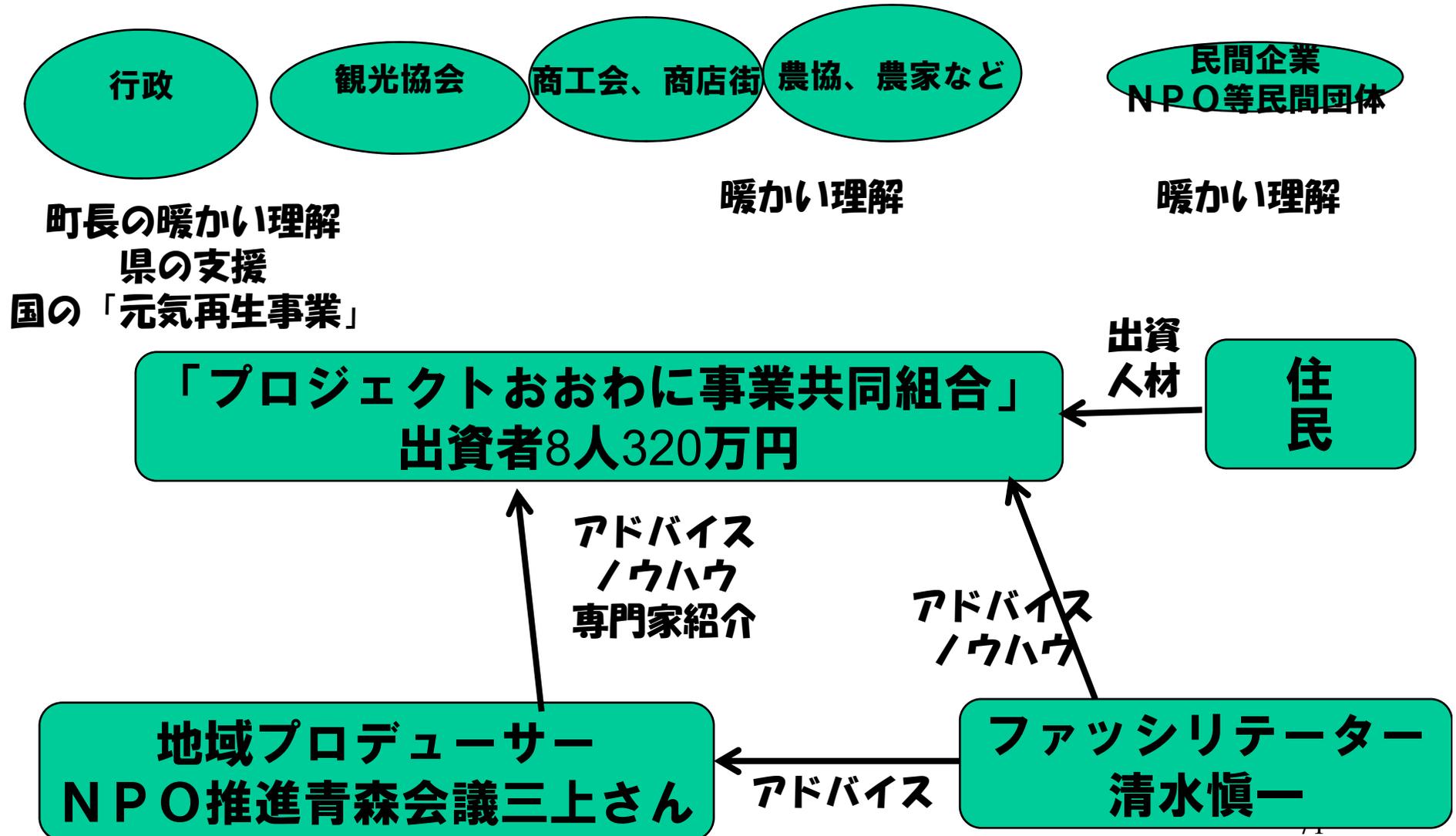
鰐come(平成16年オープン、17億円)の管理・運営  
(年間33百万円の赤字だが指定管理委託料はゼロ)

## ●着地型観光の実現

大鰐町の地域資源を活用した着地型商品の開発



# 大鰐における様々な団体などの連携と「持続的な地域経営事業組織」の設立



# 持続的な観光振興とイノベーション

